

1. 弘前ねぶたの出陣等について

①弘前ねぶたの運行

重要無形民俗文化財である青森県弘前市の大型扇ねぶた（約8m）が出陣し、笛や太鼓の囃子の音色を響かせながら会場を練り歩きます。

時間：16：30～17：00

20：30～21：00（計2回）

場所：柳井小学校前～麗都路通り

②弘前ねぶたお囃子演奏

時間：17：00～17：15

19：30～19：45

場所：麗都路通り（広銀前）

③弘前市物産販売、観光PR

日本一のりんごの産地である青森県弘前市のリンゴジュース、シードルなどの物産販売や、弘前ねぶたまつりなどの観光PRを実施します。

時間：16：30～21：00

場所：レトロスクエア

④弘前ねぶたの展示・お囃子演奏・体験

まつり開催前に、弘前ねぶたの展示、お囃子演奏のほか、お囃子体験を実施します。

時間：13：00～15：00

場所：サンビームやない駐車場



2. 弘前ねぶたの組立作業、試験点灯等の公開について

青森県弘前市より陸送した弘前ねぶたの組立作業、試験点灯等を報道機関の皆様へ公開いたします。

日時：令和8年8月12日（水）17：00～

場所：サンビームやない駐車場

※駐車場は第2駐車場をご利用ください。

内容：弘前ねぶたのトレーラーからの積降、組立作業、試験点灯、

昇降・回転装置の動作確認 ほか

※12日が雨天の場合には、作業を13日に延期する可能性があります。



弘前ねぷたまつりについて

青森県津軽地方の夏を彩る「弘前ねぷたまつり」は、毎年8月1日～7日に開催され、三国志や水滸伝などの武者絵等を題材とした勇壮華麗なねぷたが城下町弘前市を練り歩く夏まつりです。国の重要無形民俗文化財にも指定されており、津軽の夏の風物詩として全国から多くの観光客が訪れます。

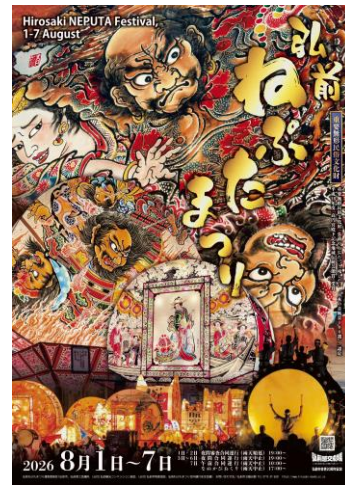
「弘前ねぷたまつり」の始まりは、昔、農民が夏の忙しい時期に襲ってくる眠気を追い払うため、睡魔を船や燈籠などにのせ、川に流した「ねむり流し」という行事から発展し、今の祭りになったとされています。

【Web ページ】

https://hirosaki-kanko.or.jp/edit.html?id=cat02_summer_neputa

【弘前ねぷたまつり開催概要】

開催期間	： 毎年8月1日～8月7日		
運行コース・開始時間	： 8月1日～4日	土手町コース	19：00～
	8月5日、6日	駅前コース	19：00～
	8月7日	土手町コース	10：00～



出陣する弘前ねぷたの題材

ねぷた絵師：三浦 呑龍（みうら どんりゅう）

鏡絵【正面】：鐘馗と鬼（しょうきとおに）

鐘馗は病に苦しむ唐の玄宗皇帝の夢の中に現れ、鬼を追い払ったという。

この神事から疫病を退け、魔を除く神とされる。

見送り絵【後面】：弁財天（べんざいてん）

七福神の一つとされ、音楽・弁才・財福などをつかさどる女神。

